

9月4日(火)

(* はショートトーク)

12:00 受付開始
12:50 開会、事務連絡

代謝・代謝調節(1) (座長: 井沢真吾、福田良一)

- 13:00 1 TORC2 シグナリングの解析: 糖尿病病態解析モデルとしての酵母
○野村 亘¹、河田照雄¹、井上善晴² (¹京大院・農・食品生物、²京大院・農・応生科)
- 13:13 2 メタノール資化性酵母 *Candida boidinii* の窒素代謝に関わる酵素遺伝子の葉上における発現制御と生理機能
○白石晃将、内田大智、川口甲介、由里本博也、阪井康能 (京大院農・応用生命)
- 13:26 3 PHドメインタンパク質 Slp2 によるイノシトールリン脂質シグナルの制御
○李 翠芳^{1,2}、喜多綾子¹、橋本佑香¹、井原美沙子¹、加藤彩香¹、阪井康能³、奥 公秀³、伊藤俊樹⁴、杉浦麗子¹ (¹近畿大・薬・分子医療・ゲノム創薬学、²日本学術振興会特別研究員 DC、³京大院・農・応用生命、⁴神戸大院・医・膜生物学)
- 13:39 4 分裂酵母のトリグリセリドリパーゼ遺伝子破壊株の作成とリシノール酸生産
○植村 浩¹、矢澤 彌¹、神坂 泰¹、木村和義¹、山岡正和¹、熊谷博道²
(¹産総研・生物プロセス研究部門、²旭硝子・ASPEX)
- 13:52 5 老化進行過程における酵母細胞のメタボローム解析
○亀井優香¹、玉田佳大²、福崎英一郎²、向由起夫¹
(¹長浜バイオ大院・バイオサイエンス、²阪大院・工・生命先端)
- 14:05 6* 出芽酵母におけるプロリン代謝中間体 Δ^1 -ピロリン-5-カルボン酸を介した細胞死発現機構の解析
西村 明、○那須野 亮、高木博史 (奈良先端大・バイオ)
- 14:13 7 出芽酵母のミトコンドリアにおけるプロリン輸送体の探索と機能解析
○西田郁久^{1,2}、大津厳生¹、高木博史¹ (¹奈良先端大・バイオ、²学振特別研究員DC)
- 14:26~14:50 休憩 (ポスター貼付け)

形態形成 (座長：大橋貴生、横尾岳彦)

- 14:50 8* 分裂酵母の非性的凝集を誘導する転写因子 Mbx2 の解析
○松沢智彦、竹川 薫 (九大院・生資環・生命機能)
- 15:58 9 複合型スフィンゴ脂質の組成変化が膜流動性に与える影響
○上村聡志¹、井ノ口仁一²、阿部文快¹ (¹青山学院・理工・化生、²東北薬科大)
- 15:11 10 出芽と Ca²⁺恒常性維持の連携機構
○吉田光範¹、八代田(滝田) 陽子²、大矢 禎一¹
(¹東大・院新領域・先端生命、²理研・化学遺伝学)
- 15:24 11 出芽酵母の形態形成における細胞壁の各構成成分の役割
○岡田啓希¹、大貫慎輔¹、J.B. Konopka²、大矢禎一¹
(¹東大・新領域・先端生命、²SUNY)
- 15:37 12 分裂酵母の間期におけるアクチンケーブルの動き
○柏崎 隼、馬淵一誠 (学習院大・理・生命科学)

転写制御 (座長：中川智行、湯川格史)

- 15:50 13 タンパク質の過剰に対して、細胞内の各プロセスは異なった頑健性を持っている。
○守屋央朗、蒔苗浩司 (岡山大学・異分野融合先端研究コア)
- 16:03 14 Tup1 コリプレッサーN 末端領域の X 線結晶構造と機能
○向 由起夫¹、田中直子¹、日下菜花¹、中村太一²、井上 豪²、松村浩由²
(¹長浜バイオ大学・バイオサイエンス、²阪大院・工・応用化学)
- 16:16 15 アルカン資化性酵母 *Yarrowia lipolytica* の *n*-アルカン応答に関わる転写制御因子 Yas3 と酸性リン脂質との結合に関する解析
○小林 哲¹、福田良一¹、堀内裕之¹、太田明德²
(¹東大院・農生科・応生工、²東京農大・応生科・バイオ)
- 16:29 16* *Yarrowia lipolytica* における *n*-アルカンによる遺伝子発現変動とその制御
○岩間 亮¹、小林 哲¹、志波 優²、吉川博文^{2,3}、堀内裕之¹、福田良一¹、太田明德³
(¹東大院農生科・応生工、²東京農大・ゲノム解析セ、³東京農大応生科・バイオ)

16:37～17:00 休憩（ポスター貼付け）

遺伝子発現（座長：北村憲司、向 由起夫）

- 17:00 17 出芽酵母ターミネーター活性の網羅的な評価
○松山 崇¹、伊藤洋一郎¹、山西 守¹、今村千絵²、片平悟史²、池内暁紀²
（(株)豊田中央研究所¹、松山研究グループ、²バイオ研究室）
- 17:13 18 Increased transcription of *RPL40A* gene is important for the improvement of RNA production in *Saccharomyces cerevisiae*
○Fahmida Khatun, Kenta kurata, Varesa chuwattanakul, Minetaka Sugiyama, Yoshinobu Kaneko, Satoshi Harashima (Dept. Biotechnol., Osaka Univ.)
- 17:26 19* 酵母メタノール誘導性遺伝子発現調節における CbMig1p の役割
○ZHAI Zhenyu、由里本博也、阪井康能（京大院農・応用生命）

タンパク質分解・オートファジー（座長：木村洋子、佐伯 泰）

- 17:34 20* 26S プロテアソーム蓋部サブユニット Rpn8 と Rpn11 の相互作用
○八代田英樹、神垣あかね、村田茂穂（東大・薬・蛋白質代謝）
- 17:42 21 Npr2 は Gtr1-Gtr2 の GTP/GDP 変換を介して TORC1 を負に制御する
○吉良新太郎²、吉森 保^{2,3}、野田健司^{1,2}（¹阪大・歯、²阪大・生命機能、³阪大・医）

オルガネラ（座長：田中直孝、中村太郎）

- 17:55 22 小胞体ストレスセンサー Ire1 による亜鉛トランスポーター Zrg17 の直接的制御
○堂道京子、堤 智明、Nguyen Sy Le Thanh、河野憲二、木俣行雄
（奈良先端大・バイオ）
- 18:08 23 出芽酵母ゴルジ体における Rab GTPase の制御機構
○須田恭之¹、中野明彦^{1,2}
（¹理研・基幹研・中野生体膜、²東大・院理・生物科学）
- 18:21 24 ER-ゴルジ間タンパク質輸送のイメージング解析
○黒川量雄¹、中野明彦^{1,2}
（¹理研・基幹研・中野生体膜、²東京大・院・理・生物科学）

19:00～ 運営委員会

9月5日(水) (* はショートトーク)

9:00 事務連絡(計画停電の有無とそれに伴うプログラムの変更について)

染色体 (座長: 石井浩二郎、高山優子)

- 9:10 **25** 分裂酵母のダイセントリック染色体を安定化する機構の解析
○佐藤 浩¹、増田史恵¹、高山優子²、齋藤成昭¹
(¹久留米大・分生研・細胞工学、²帝京大・理工・バイオサイエンス学科)
- 9:23 **26** コヒーシン切断に伴うオーロラキナーゼの局在変化
○丑丸敬史¹、一瀬豊司¹、間瀬 悟¹、石川かな¹ (¹静岡大・理学・生物科学)
- 9:36 **27** 分裂酵母 RecQ ヘリケース Rqh1 は環状染色体の維持に必要である
南部智子¹、高橋克典²、○上野 勝²
(¹広大・工学部・3類、²広大・院先端物質・分子生命)
- 9:49 **28** テロメア集合はテロセントロゾーム形成によって起こる
○建徳一樹¹、吉田昌史¹、勝山 聡¹、中村博人¹、大羽辰典¹、松原央達²、三木双葉³、
岡崎孝映³、原口徳子^{4,5}、丹羽修身³、平岡 泰^{4,5}、山本 歩^{1,2} (¹静大・院理、²静大・院
創造、³かずさ DNA 研究所、⁴情通機構・バイオ ICT、⁵阪大・院生命機能)
- 10:02 **29** 世代を越えたエピジェネティックな遺伝子発現はヒストン修飾酵素により制御されている
眞野恭伸¹、内田博之¹、○沖 昌也^{1,2,3}
(¹福井大・院工・生物化学、²福井大・生命センター、³JST さきがけ)
- 10:15 **30** Ers1 は HP1 を介して RNAi 機構をヘテロクロマチンにリクルートする
○林 亜紀¹、石田真由美²、川口利華¹、中山潤一¹
(¹神戸理化学研究所・CDB・クロマチン動態、²関学・理工・生命科学)
- 10:28～10:50 休憩

細胞周期・増殖制御 (座長：前川裕美、松浦 彰)

- 10:50 31 Oar2 を介した核膜動態の制御は、Anaphase の進行に重要である
○青木敬太¹、志波 優²、高田 啓³、吉川博文^{2,3}、仁木宏典¹
(¹国立遺伝学研究所、²東京農大・ゲノムセ、³東京農大・応生科・バイオ)
- 11:03 32 分裂酵母の細胞周期制御に存在するフィードバックの解明
○茅野文子^{1,2}、守屋央朗²
(¹岡山大学・自然科学・バイオサイエンス、²岡山大学・RCIS)
- 11:16 33 オートファジー依存的な細胞周期進行機構とそのゲノム安定性への関与
○松井愛子^{1,3}、鎌田芳彰²、松浦 彰¹
(¹千葉大・院・融合科学、²基生研、³日本学術振興会特別研究員 DC2)
- 11:29 34 rDNA と細胞老化
坂季美子¹、ガンレイ オーステン²、井手 聖¹、○小林武彦¹
(¹国立遺伝研・細胞遺伝、²マッセイ大)
- 11:42 35 細胞寿命の延長につながる糖代謝経路の抑制とサーチュインの関係
○増本博司¹、八戸真弓² (¹筑波大学・生命環境系、²食総研)
- 11:55 36 出芽酵母を用いた新規寿命制御因子の探索と機能解析
○椿山諒平¹、水沼正樹¹、金井宗良²、藤井 力²、家藤治幸²、平田 大¹
(¹広島大院・先端研・分子生命、²酒総研)
- 12:08～13:30 昼食

生殖制御・減数分裂期 (座長：山本 歩、山田貴富)

- 13:30 37* 分裂酵母の接合フェロモンは 6 アミノ酸だけで機能する
○清家 泰介、中村 太郎、下田 親 (大阪市立大・院理・生物地球系)
- 13:38 38 出芽酵母 Rpd3/HDAC 複合体による減数分裂中期遺伝子群の転写制御
○湯川格史¹、河村 浩¹、浅田星太郎¹、今村優子¹、土屋英子¹
(¹広島大院・先端物質科学)
- 13:51 39 分裂酵母の減数分裂期組換えにおけるヒストン修飾の機能
○山田真太郎^{1,2}、太田邦史^{1,2}、山田貴富¹ (東大・院・¹総合文化、²理)

- 14:04 40 出芽酵母 9-1-1 複合体は ZMM/SIC のリクルートを介して組換えを制御する
○林原加代子¹, 辻岳志^{1,2,3}, 篠原彰^{1,2}, 篠原美紀^{1,2}
(¹ 阪大・蛋白研・ゲノム染色体機能, ² 阪大・院理・生物科学, ³ 阪大・リーディング大学院・IPBS)

環境・ストレス応答 (1) (座長: 上野 勝、村上浩士)

- 14:17 41 DNA 損傷部位の核内空間配置変化におけるクロマチンリモデリング複合体の寄与
○小西辰紀¹, 尾間由佳子¹, 中山景樹¹, 堀籠智洋², Susan Gasser², 原田昌彦¹
(¹ 東北大・院農, ² Friedrich Miescher Institute, Basel)
- 14:30 42 出芽酵母 Xrs2 の FHA ドメインは Tel1/ATM の活性を介して NHEJ を制御する
岩崎大地^{1,2}, 名定 優^{1,2}, ○篠原美紀^{1,2}
(¹ 阪大・蛋白研・ゲノム染色体機能, ² 阪大・院理・生物科学)
- 14:43 43 分裂酵母ヒストンシャペロン HIRA のストレス応答における役割
○中條 萌絵子¹, 樽本 雄介¹, 宮竹 功一², 西田 栄介², 石川 冬木¹
(¹ 京大・院生命科学・細胞周期学, ² 京大・院生命科学・シグナル伝達学)
- 14:56~15:20 休憩

環境ストレス応答 (2) (座長: 上野 勝、村上浩士)

- 15:20 44 ストレス誘導型チオレドキシンの生理学的役割
○奥 公秀¹, 阪井 康能^{1,2}
(¹ 京都大・院農・応用生命科学, ² 京都大・学際融合・生理化学研究ユニット)
- 15:33 45* アルカリストレス応答における Pho85・Pho4 の標的
○西沢正文 (慶應大・医・微生物)
- 15:41 46 ジャポニカス分裂酵母の菌糸に見られる光応答現象
○岡本尚¹, 古谷寛治², 野崎晋五¹, 仁木宏典^{1,3}
(¹ 遺伝研 系統生物, ² 京都大 放生研, ³ 総研大 遺伝学専攻)
- 15:54 47 酵母における一酸化窒素合成酵素の活性制御メカニズムの解析
○川原 寛弘、高木 博史(奈良先端大・バイオ)

情報伝達 (座長：杉浦麗子、中嶋昭雄)

- 16:07 48 Construction of 127 PTC protein phosphatase gene disruptants in all possible combinations and their phenotypic analysis in *Saccharomyces cerevisiae*
○Sharmin Dilruba, Minetaka Sugiyama, Satoshi Harashima
(Dept. of Biotech., Grad. Sch. of Eng., Osaka Univ.)
- 16:20 49 分裂酵母 Mcs4, Wis4, Win1 のヘテロ複合体を介したストレス情報伝達機構
○森ヶ崎進¹、Aminah Ikner²、建部 恒^{1,2}、高木博史¹、塩崎一裕^{1,2}
(¹奈良先端大・バイオ、²University of California, Davis・Microbiology)

酵母リソース関連 (座長：篠原美紀)

- 16:33 50 ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)酵母 第3期 - 酵母遺伝資源の戦略的収集、保存および提供に向けて -
○中村太郎¹、原島 俊²、前川裕美³、北村憲司⁴、下田 親¹、金子嘉信³
(¹大阪市立大・院理・生物地球、²大阪大・院工・生命先端、³阪大・院工・酵母リソース、⁴広
大・自然科学研セ)

ポスタープレゼンテーション & ミキサー

- 17:00~18:15 ポスター説明 (奇数番号*)
*計画停電実施の場合はこの時間帯にすべての発表を行い 18:15 で終了します
- 18:15~19:30 ポスター説明 (偶数番号)

9月6日(木) (*はショートトーク)

輸送・分泌(1) (座長：木俣行雄、野田陽一)

- 9:00 51* 分子キメラを用いた酵母の高親和性トリプトファン輸送体 Tat2 の膜輸送機構の解明
○望月貴博¹、松野 瞳¹、上村聡志¹、阿部文快^{1,2}
(¹青山学院大・理工、²海洋研究開発機構)
- 9:08 52 トリプトファン輸送体 Tat2 の基質認識と輸送を担うアミノ酸残基の探索
完田奈緒子¹、○阿部文快^{1,2} (¹青山学院大・理工、²海洋研究開発機構)

- 9:21 **53*** 分裂酵母における糖鎖のピルビン酸付加に関与するホスホエノールピルビン酸トランスポーターの同定
 ○頼経 健一、松沢 智彦、竹川 薫（九大・院・生資環）
- 9:29 **54** 出芽酵母 N 糖鎖のマンノースリン酸の付加に関与する Mnn4 蛋白のゴルジ体局在は Svp26 と Mnn6 蛋白質に依存する
 ○野田陽一、依田幸司（東大院・農生科・応生工）
- 9:42 **55** 出芽酵母 V-ATPase の細胞膜蛋白質のリサイクリングにおける役割
 ○十島純子^{1,2}、植野一馬¹、斎藤麻由¹、十島二郎^{1,2}
 （¹東京理大・基礎工・生物工、²東京理大・総研・RNA 研究センター）
- 9:55 **56** 小胞輸送における極長鎖脂肪酸の機能解析
 ○小原圭介、小島 亮、木原章雄（北海道大・院薬）

新しい技術・分野 （座長：守屋央朗、渡辺大輔）

- 10:08 **57** 遺伝子スイッチを用いた出芽酵母の代謝変換制御
 ○伊藤洋一郎、山西守、松山崇（(株)豊田中央研究所）
- 10:21 **58** Development of multiple stress tolerant hybrid *Saccharomyces cerevisiae* strain TJ14 for cost-efficient production of bio-ethanol
 ○Hosein Shahsavarani¹, Takatoshi Sakamoto¹, Daisuke Hasegawa¹, Daiki Yokota¹, Minetaka Sugiyama¹, Yoshinobu Kaneko¹, Chuenchit Boonchird² and Satoshi Harashima¹
 (¹Dept. of Biotechnol., Osaka Univ., ²Dept. of Biotechnol., Mahidol Univ., Thailand)
- 10:34 **59** Exploitation of PCDup technology for breeding and genome analysis in *Saccharomyces cerevisiae*
 ○Waranya Natesuntorn, Yuki Matsubara, Tatsuya Hayashi, Minetaka Sugiyama, Yoshinobu Kaneko, Satoshi Harashima (Dept. of Biotechnol., Osaka Univ.)
- 10:47 **60*** High ethanol fermentation from sugarcane molasses by *Saccharomyces cerevisiae* strain TJ14-U54 under high-temperature condition
 ○Masashi Kobata¹, Takatoshi Sakamoto¹, Hosein Shahsavarani¹, Minetaka Sugiyama¹, Yoshinobu Kaneko¹, Chuenchit Boonchird², Satoshi Harashima¹
 (¹Dept. of Biotechnol., Osaka Univ., ²Dept. of Biotechnol., Mahidol Univ., Thailand)
- 11:05 ベストポスター賞 表彰式
- 11:15 総会
- 12:00 閉会

ポスター発表

代謝・代謝調節

- P1 酵母 γ -グルタミルキナーゼにおける C 末端領域の機能解析
○立橋祐樹¹、戒能智宏²、高木博史¹ (1 奈良先端大・バイオ、² 島根大・生物資源)
- P2 未知のエンド型 *O*-マンノシダーゼによる遊離糖鎖の生成機構について
○平山弘人¹、花島慎弥²、山口芳樹²、鈴木 匡¹
(¹ 理研・システム糖鎖・糖鎖代謝学、² 理研・システム糖鎖・糖鎖構造)

形態形成

- P3 染色体の倍数性による細胞サイズの調節機構
○山下一郎¹、田村祐樹¹、北村憲司¹、升田裕久²
(¹ 広島大・遺伝子、² Cancer Research UK London Research Institute)
- P4 新規生理活性物質 JBIR-19 は細胞形態の伸長とアクチンの脱局在を引き起こす
○大貫慎輔¹、松本理佐¹、小林智英¹、野上 識¹、大矢禎一¹ (1 東大・院新領域・先端生命)

転写制御

- P5 過剰発現で乳酸耐性を付与する出芽酵母転写活性化因子 Haa1 の機能解析
○松田祐典、杉山峰崇、原島 俊 (阪大・院工・生命先端)
- P6 グローバルな転写制御因子 Cyc8 はトリプトファン関連遺伝子の転写を活性化する
○田中直子¹、向 由起夫¹ (1 長浜バイオ大院・バイオサイエンス)
- P7 カルパイン様プロテアーゼ Rim13 による Rim101 切断部位の同定
○谷川美頼、前田達哉 (東京大学・分生研)

遺伝子発現

- P8 メタノール誘導性遺伝子発現における Hap 複合体の役割
○小田沙織、新田暢久、ZHAI Zhenyu、由里本博也、阪井康能 (京大院農・応用生命)
- P9 ラリアットイントロンのデブランチング酵素 Dbr1p とその相互作用因子 Mug161p の機能解析
○杉野 司¹、片岡直行²、谷 時雄¹
(¹ 熊本大・院自然科学・生命科学、² 京都大・医学研究・メディカルイノベーションセンター)

タンパク質分解・修飾

- P10 疾患型 VCP は酵母 *cdc48* 変異体の増殖欠損を抑制する
○高田尚寛^{1,2}、木村洋子³、大沼洋平¹、川脇純子³、柿山幸恵³、田中啓二³、垣塚 彰¹
(¹ 京大・院・生命、² 現・(株)カネカ、³ 都医学研)

- P11 ゴルジ体膜結合型転写因子の切断に関与するロンボイドプロテアーゼの機能解析
○東 玲那¹、渋谷大介¹、竹川 薫²、田淵光昭¹、田中直孝¹
(¹香川大・農・応用生物、²九大院・農・生物機能)
- P12 アミノ酸トランスポーターCat1 のアレスチン様タンパク質による機能制御
○中嶋昭雄¹、玉野井冬彦²、吉川 潮¹ (¹神戸大バイオシグナル、² Dept. of MIMG, UCLA)
- P13 出芽酵母の休止期において形成されるプロテアソームストレージ顆粒の解析
○雪井 悠^{1,2}、新井直子¹、田中啓二¹、佐伯 泰¹
(¹東京都医学総合研究所・蛋白質代謝、²お茶の水女子大・ライフサイエンス)

DNA 複製

- P14 新規ユビキチン鎖長決定法の開発
○土屋 光^{1,2}、海保 愛¹、田中啓二¹、佐伯 泰¹
(¹東京都医学総合研究所・蛋白質代謝、²東京大学分子細胞生物学研究所)
- P15 細胞内タンパク質分解装置プロテアソームの分子集合と作動機構
○佐伯 泰¹、坂田絵理²、雪井 悠¹、水島恒祐³、W. Baumeister⁴、田中啓二¹
(¹都医学研・蛋白質代謝、²Yale Univ・Mol Biophys Biochem、³兵庫県立大・生命理、⁴MPI・Mol Struct Biol)
- P16 耐熱性酵母由来 26S プロテアソームの発現系構築
○西尾 和也^{1,2}、佐伯 泰³、赤田 倫治⁴、田中 啓二³、水島恒祐¹、森本 幸生² (¹兵庫県立大・院・生命理、²京大・原子炉、³都医学研・生体分子、⁴山口大・ゲノム生命)
- P17 ERAD におけるエンドペプチダーゼ活性の解析
○細見 昭、鈴木 匡 (理研・基幹研・システム糖鎖・糖鎖代謝学)

オートファジー

- P18 脂肪滴動態における Atg8 の役割
○前田 佑一郎、奥 公秀、阪井 康能 (京大・院農・応用生命)
- P19 分裂酵母のオートファジーは減数分裂において染色体分配と進行の制御に関わる
○松原央達¹、山本 歩^{1,2} (¹静大院・創造、²静大・理)
- P20 オートファジーによる被分解タンパク質の網羅的解析
○鈴木邦律¹、中村新伍²、森本真弓³、野田展生⁴、稲垣冬彦²、大隅良典³
(¹東大院・新領域、²北大院・薬、³東工大・フロンティア研究機構、⁴微化研)

P21 出芽酵母におけるリン酸代謝とオートファジーの関連性
○横田浩人、五味勝也、新谷尚弘（東北大・院農・生物産業創成科学）

P22 ESCRT 変異によるオートファジー非依存的な液胞分解経路の活性化
一迫直也¹、○松浦優佳²、五味勝也^{1,2}、新谷尚弘^{1,2}
(¹東北大・院農・生物産業創成科学、²東北大・農・応生化)

染色体

P23 変動するサイレンシング領域の機能解明
○寺田尚弘¹、内田博之¹、沖 昌也^{1,2,3}
(¹福井大・院工・生物化学、²福井大・生命科学複合センター、³JST・さきがけ)

P24 *GIC1* と境界形成との関わり
○光森理紗¹、内田博之¹、沖 昌也^{1,2,3}
(¹福井大・工学研究科・生物化学講座、²福井大学生命科学複合研究センター、³JST さきがけ)

P25 サイレンシング領域境界形成因子 *Ada1* の解析
○釜田和馬¹、内田博之¹、沖 昌也^{1,2,3}
(¹福井院工・生物化学、²福井大・生命センター、³JST・さきがけ)

細胞周期・DNA複製

P26 抗癌活性物質エンドパーオキシサイドによる出芽酵母の細胞周期進行制御
○今村優子²、汐谷充博²、木村賢一¹、湯川格史²、土屋英子²
(¹岩手大院・農、²広島大院・先端物質科学)

P27 出芽酵母の経時寿命の維持における Rpd3/HDAC の機能解析
○門前宏陽、今村優子、湯川格史、土屋英子（広島大学大学院・先端物質科学研究科）

P28 *php2* 変異株は分裂酵母の経時寿命を延長させる
○大塚北斗¹、琢磨和晃²、東 劍虹²、村上浩士³、饗場浩文¹
(¹名大院・創薬科学、²名大院・生命農学、³埼玉大院・理工)

P29 出芽酵母 Sld3-Sld7 複合体による DNA 複製開始機構の解明
○牧野仁志穂¹、荒木弘之^{1,2}
(¹総研大・生命科学研究科・遺伝学専攻、²遺伝研・細胞遺伝研究系・微生物遺伝)

生殖制御・減数分裂

P30 分裂酵母の胞子発芽におけるタイムラプス観察および変異株の取得
○東谷 未来、今田一姫、下田 親、中村太郎（大阪市立大・院理・生物地球系）

- P31 染色体サブテロメア領域の機能解明
○西原祐輝、加納純子（阪大・蛋白研）
- P32 出芽酵母 9-1-1 複合体の減数分裂期における機能解析
○辻 岳志^{1,2,3}、篠原 彰^{1,2}、篠原美紀^{1,2}
(¹阪大・蛋白研、²阪大・院理・生物科学、³阪大・リーディング大学院・IPBS)
- P33 分裂酵母の非性的凝集に関わる *czf1* 遺伝子の解析
○景山瑠子、大石和義、川向 誠（島根大・生物資源）
- P34 出芽酵母前孢子膜伸長に関与する Spo71、Spo73 の解析
○奥村祐哉¹、田中貴之¹、井上一朗¹、福地栄太¹、須田恭之²、舘川宏之¹
(¹東大院・農生科・応生化、²理研・基幹研・中野生体膜)

環境ストレス応答

- P35 *Schizosaccharomyces pombe* の耐酸性の評価
○佐々木真弓、東田英毅、アリムジャン・イディリス（旭硝子・ASPEX 事業部）
- P36 ミトコンドリア関連の量感受性遺伝子(DSG)と *PPH3* の遺伝的相互作用
○金高令子^{1,2}、蒔苗浩司²、守屋央朗²
(¹岡山大学・自然科学・地球生命物質科学、²岡山大学・RCIS)
- P37 発酵阻害物質フルフラールおよび HMF による mRNP granule の形成誘導
○河合孝朗、岩城 理、山本陽佑、井沢真吾（京都工繊大・工芸科学・応生）
- P38 熱ショック/エタノール複合ストレスによる stress granule の形成と adaptation の影響
○山本陽佑、井沢真吾（京都工繊大院・工芸科学・応生）
- P39 出芽酵母の膜マイクロドメインにおける高浸透圧ストレス応答
○渡邊太史、井沢真吾（京都工繊大・院工芸科学・応用生物）
- P40 出芽酵母の放射線ストレスに対するカタラーゼの影響
○西本琢登¹、古田雅一²、片岡道彦¹、岸田正夫¹（大阪府立大・¹院生命環境、応用生命・²地域連携研究機構、放射線研究センター）
- P41 機能未知タンパク質 Pog1 の過剰発現株が示すイオンストレス耐性機構の解析
○大城 聡、喜多島 萌、高木博史（奈良先端大・バイオ）

情報伝達

- P42** クラスリンアダプターAP-1 複合体結合タンパク質 Its4/Sip1 による Ca^{2+} シグナル制御メカニズムの解明
○于 陽、喜多綾子、有働雅子、朴 貴和、片山雄大、新谷真未、杉浦麗子
(近畿大・院薬・分子医療・ゲノム創薬学)
- P43** 出芽酵母における高温ストレス適応に関わるシグナル伝達系の解析
○津田遼平、田中直孝、田淵光昭 (香川大・農・応用生物)
- P44** 清酒酵母協会 7 号は窒素源のシグナル伝達系に異常がある
○中沢伸重、佐藤 綾(秋田県大・院生資・応生)
- P45** メタノール資化酵母におけるリン酸シグナル伝達系遺伝子の遺伝学的同定
○結川直哉¹、中塚比呂記¹、周 瑩¹、中西洋一²、前川裕美³、金子嘉信³、原島 俊¹
(¹阪大院・生命先端、²名大院・生命農学、³阪大院・酵母リソース)

輸送・分泌

- P46** GPI アンカー型タンパク質の最終目的地を決定するメカニズムの解析
○横尾岳彦¹、高瀬久美子¹、梅村真理子²、地神芳文³
(¹産総研・生物プロセス、²東京薬科大・生命科学、³産総研・糖鎖医セ)
- P47** プロテインジスルフィドイソメラーゼ(PDI)をキャリアとした分裂酵母における分泌生産技術の開発
○小谷哲也、東田英毅、アリムジャン・イディリス (旭硝子・ASPEX 事業部)
- P48** プロテインジスルフィドイソメラーゼ Pdi1p を用いた分裂酵母異種タンパク質分泌生産系の構築
○富永陽大¹、小谷哲也²、向山博幸¹、松沢智彦¹、竹川 薫¹
(¹九大院・農・生命機能、²旭硝子・ASPEX)
- P49** 分泌経路遮断時のシグナル伝達にはアクチンと微小管の制御系が必要である
○矢吹友佳理、片山雅子、児玉悠史、坂本有木子、水田啓子 (広島大院・生物圏)
- P50** 分裂酵母 ERGIC 及びマーカータンパク質 Emp43p の解析
○梨子木健人¹、鈴木章太郎¹、竹川 薫²、田淵光昭¹、田中直孝¹
(¹香川大・農・応用生物、²九大院・農・生物機)
- P51** エンドサイトーシス過程における Rho タンパク質によるアクチン骨格制御機構の解析
○岡田明日香¹、長島万希子¹、樋口章子¹、十島純子^{1,2}、十島二郎^{1,2}
(¹東京理大・基礎工・生物工、²東京理大・総研・RNA 研究センター)
- P52** 出芽酵母 Rab GTPase YPT6p の細胞内局在と小胞輸送における役割の解析
○川村苑子¹、十島純子^{1,2}、十島二郎^{1,2}
(¹東京理大・基礎工・生物工、²東京理大・総研・RNA 研究センター)

- P53 出芽酵母 Rab5 ファミリー蛋白質の細胞内輸送経路における役割
○西ノ明祥¹、十島純子^{1,2}、古川大貴¹、佐藤祥史¹、十島二郎^{1,2}
(¹東京理大・基礎工・生物工、²東京理大・総研・RNA 研究センター)
- P54 Functional analysis of the transporter Avt7 in *Saccharomyces cerevisiae*
○Ariunzaya Tsolmonbaatar¹、Ikuhisa Nishida^{1,2}、Hiroshi Takagi¹
(Grad. Sch. of Biol. Sci., NAIST¹, JSPS Research Fellow DC²)
- P55 酵母発酵における大豆ペプチド取り込み特性の解析とその利用
○杉山将宏¹、北川さゆり¹、本山貴康¹、阿部文快²
(¹不二製油・フードサイエンス研、²青山学院大・理工)

オルガネラ

- P56 出芽酵母のクロマチンリモデリング因子 RSC によるミトコンドリア制御機構の解明
○余 斐斐¹、今村優子¹、岡根 杏¹、湯川格史¹、土屋英子¹ (¹広島大院・先端物質科学)
- P57 分裂酵母のゴルジ体膜に局在するコイルドコイルタンパク質 Gmp1 の機能解析
○児子隆英¹、工藤真友美¹、松沢智彦²、竹川 薫²、田淵光昭¹、田中直孝¹
(¹香川大・農・応用生物、²九大院・農・生物機)
- P58 出芽酵母アシル基転移酵素 Lpt1 のトポロジー解析
○古庄征才、吉崎由美子、高峯和則、鮫島吉廣、伊藤 清、玉置尚徳 (鹿児島大・農・生資化)
- P59 *S. cerevisiae* のゴルジ体槽成熟機構のライブイメージング
○石井みどり^{1,2}、黒川量雄²、中野明彦^{1,2}
(¹東大・院理・生物科学、²理研・基幹研・中野生体膜)

細胞構造

- P60 分裂酵母リゾリン脂質アシル転移酵素 Slc1 の基質特異性と細胞膜リン脂質組成との関連
○福田竜也、吉崎由美子、高峯和則、鮫島吉廣、伊藤 清、玉置尚徳 (鹿児島大・農・生資化)
- P61 病原性担子菌酵母 *Cryptococcus neoformans*、*Malassezia furfur*、*Rhodotorula mucilaginosa* の細胞表層糖鎖の構造解析
○大橋貴生¹、酒井香奈江²、五ノ井 透²、藤山和仁¹
(¹阪大・生物工学国際交流センター、²千葉大・真菌医学研究センター)
- P62 分裂酵母 *ura4* 破壊株の細胞溶解現象
○西野耕平、松尾祐児、水野康平、川向 誠 (島根大・生物資源科学・生命工学)

新しい技術・分野

- P63** 酵母発現系を用いた植物病原菌エフェクターの標的遺伝子の探索
○長谷川純一、中川智絵、東構真城、田中直孝、田淵光昭（香川大・農・応用生物）
- P64** RNA 高含有出芽酵母の分子育種
○宇杉祥吾、Varesa Chuwattanakul、Fahmida Khatun、杉山峰崇、原島 俊
(阪大・院工・生命先端)
- P65** パン酵母を利用したイネいもち病菌マイコウイルス由来弱毒化タンパク質の宿主細胞に対する生育阻害メカニズムの解析
○太田智子、浦山俊一、福原敏行、有江 力、寺岡 徹、森山裕充
(東京農工大学・院農・生物制御科学)
- P66** 線虫を宿主とした真菌感染症解析系の構築
大岩嵩裕¹、中山浩伸³、知花博治⁴、前田淳史²、文谷政憲^{1,2}、○水野貴之^{1,2}
(¹徳島文理・院工・ナノ物質、²同・理工、³鈴鹿医療科学大学、⁴千葉大学)